

RSの視点を意識した 相馬メソッド



相馬メソッド

相馬市教育委員会の重点目標の一つである「確かな学力の育成」のために『子どもたちの読解力向上ならびに学力向上』をめざします。そのための授業改善のポイントとなる「8つの視点」を外円に示しました。この8つのポイントを日々の授業の中に取り入れて、取り組んでいくことが大切です。



九曜紋は相馬中村藩の家紋です。

【教師がRSの視点で文章を読む】

- ☐ 一文が長く、文の構造を捉えにくい文章は明らかになっているか？
- ☐ 教科書本文とどの図やグラフ等が対応しているか明らかになっているか？
- ☐ 子どもたちが教科書の文章を音読する際に、つまりく語句はないかを確認しているか？
- ☐ 省略されている主語や目的語は明らかになっているか？

【子どもが教科書フル活用する】

- ☐ 授業では教科書を使用しているか？
- ☐ 「どこで」効果的に使わせるのか？
- ☐ 子どもたちは教科書を活用しているか？

【教師と子どもでめあての確認をする】

- ☐ 授業のねらいが子どもに伝わっているか？
 - ・ 何を学ぶのか。
 - ・ どうやって学ぶのか。
 - ・ 何ができるようになるのか。

【ノートに残す板書を構築する】

- ☐ 子どもがノートに共書きできるか？
- ☐ 後で子どもがノートを見返した時に、意味が通じるか？（主語・述語・指示語）
- ☐ 教科書の定義文は、教科書の通り板書しているか？

【教師の意図が伝わる表現にする】

- ☐ 一意に決まらない表現は避けているか？
- NG例：「しっかり」「ちゃんと」「きちんと」「工夫して」 （めあてに使わない）

【意図的にアウトプットの機会をつくる】

- ☐ 教師が意図的な問い返しをしているか？
 - ・ 理由を説明させる。
 - ・ 根拠を探させる。
 - ・ 本当にそう言えるのか、妥当性を判断させる。
- ☐ 教科書の文章を図表等に表現させているか？

【具体例生成や同義文生成の活動を取り入れる】

- ☐ 同義で言い換えた表現や具体例は何かを明らかにしているか？
- ☐ 定義を基に具体例を考える「具体例生成」をさせたか？
- ☐ 同義となるように言い換える「同義文生成」をさせたか？

【文の読み方を明示的に指導する】

- ☐ 教科書を正しく読むための方略を明確化し、子どもたちに伝えているか？
- ☐ その方略がなぜよいのか、子どもたちに伝えているか？
- ☐ 方略を使うための意図的な練習の機会を設定しているか？
- ☐ 課題解決の過程についてフィードバックしているか？

【例】・線を引く ・丸で囲む ・図で表す ・矢印をひく ・題名に着目する など